

開館 60 周年

日本画

ザ・ベスト・コレクション
The Best Collection: Modern Nihonga Painting

片岡球子、荘司福、山口蓬春の作品など、当館のコレクションより日本画の名品を紹介します。



神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

2011年10月22日(土)-2012年3月25日(日)

前期 10月22日(土)-12月4日(日)

中期 12月6日(火)-1月29日(日)

後期 1月31日(火)-3月25日(日)

休館日:月曜日(ただし、1月9日は開館)、12月29日(木)-1月3日(火)

開館時間:午前9時30分-午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料:一般 250円(団体 150円)、20歳未満・学生 150円(団体 100円)、65歳以上と高校生 100円

※()内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

※ファミリー・コミュニケーションの日:

毎月第1日曜日(今回は11月6日、12月4日、2月5日、3月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族(65歳以上の方を除く)は優待料金でご覧いただけます。

会場:神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005

鎌倉市雪ノ下 2-8-1

tel.0467-22-7718

狩野芳崖 《松下牧童之図》

制作年不詳 (後期展示)

■開館60周年記念 無料開館日 11月17日(木)

この日は、神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご観覧いただけます。

■学芸員によるギャラリートーク

10月29日(土)・1月7日(土)・3月3日(土)

各午後2時-午後2時30分

申込不要・無料(ただし展覧会の観覧券が必要です)

■先生のための特別鑑賞の時間

11月12日(土)・2月4日(土) 各午前10時-12時

対象:小・中・高・特別支援学校の教員・職員

申込みが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

(2011年8月中にアップ予定)

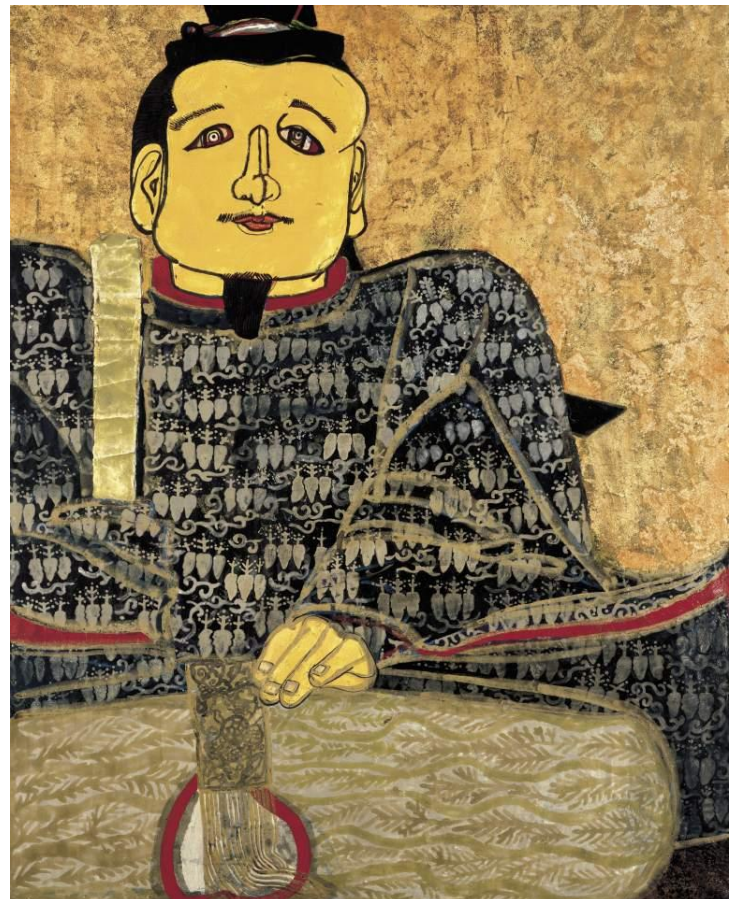
お問合せ先:神奈川県立近代美術館 鎌倉

tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-1-53

広報担当:山内舞子・長島彩音 展覧会担当:橋秀文

プレスリリース、及び展覧会情報は美術館ホームページでも
ご覧いただけます。 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



片岡球子 《面構 足利尊氏》1966年 (通期展示)

「開館 60 周年 日本画 ザ・ベスト・コレクション」では、当館の日本画のコレクションを 3 期に分けて紹介します。

前期(10月22日-12月4日)では片岡球子、中期(12月6日-1月29日)では荘司福など日本美術院で活躍した女性画家の作品を中心に明治以降の日本画の流れを辿ります。また、後期(1月31日-3月25日)では2004年度に寄贈された木下翔返コレクションの中から、両界曼荼羅や俵屋宗達の《狗子図》など鎌倉時代から江戸時代までの古画も展示します。

片岡球子は、戦後の日本画を牽引した女性画家の第一人者で、大胆な画風と革新的な歴史解釈によって多くの鑑賞者を魅了しました。今回は、《面構 足利尊氏》(1966)など歴史上の人物を取りあげた面構シリーズや火山をモチーフにした風景画などの代表作を展示します。また、片岡球子と同じく戦後の日本画を切り拓いてきた荘司福の作品では、初期の働く人々の姿をとらえた《群》(1961)や平静心を風景に反映させていった《映》(1994)などを展示します。

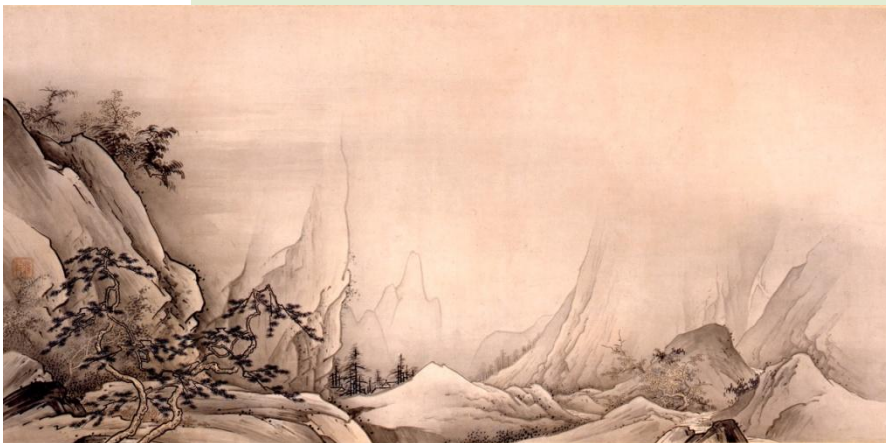
このほか、当館のコレクションのもう一つの核である、戦後葉山で活躍した日本画家山口蓬春の下図・素描類も随時併せて展示します。



速水御舟 《昆虫二題「粧蛾舞戯」》 1926年
(前期展示)



牛田雞村 《はこねの山》 1922年 (中期展示)



橋本雅邦 《深山秋色図》 制作年不詳 (後期展示)



荘司福 《群》 1961年 (中期展示)



俵屋宗達 《狗子図》 江戸時代前期 (後期展示)